

いただいたご意見、ご質問への回答

◎議会基本条例について

- ・議会基本条例についてはどうなっているのか。

→現在、議会運営委員会で集中審議しています。3月議会上程に向けて、鋭意努力しています。

◎議会報告会について

- ・議会報告会を開催し、議会として何を訴えたいのか。
また、参加者にどんな意見や方向性を求めるのか。

→議会報告会は参加者から方向性等を求める場ではなく、市民の意見を多様に聴取し、議会としての説明責任を果たす場だと考えています。

- ・議会報告会を何故この時期にするのか。そろそろ統一地方選になるからか。

→現在、敦賀市議会では、議会基本条例について、3月議会を目標に制定したいと考えています。議会報告会は、この条例の重要な要素となっています。11月開催となったのは、このためです。統一地方選とは関係なく、ただ、わたしたち議員の任期が終了する3月を最終目標と定めた結果と受け止めていただければ幸いです。

- ・今後の開催頻度は四半期毎（議会開催毎）か。

→議会基本条例（案）では、年1回以上開催することとしています。

- ・会計資料はなぜ万単位ではなく千円単位なのか。認識しにくい。

→市の予算・決算は、基本的に千円単位で運営されているためです。ただ、今後は、わかりやすい資料となるよう工夫に努めていきます。

- ・ピックアップして報告、説明しているが、その根拠は。（議論が多かった案件）金額の大きい順にした方がいいのではないか。

→9月補正予算の中で主なもの、市民の関心がありそうなものを取り上げました。金額順にすることについては、次回の報告会に向けての、検討課題とさせていただきます。

◎議員定数について

- ・議員定数の削減は考えているのか。26名定数→20名で運営出来ないか。
- ・国会でも議員定数の減が出ているが、敦賀市においても議員定数の減は考えているのか。

→議会基本条例（案）の中で、定数については、厳しい財政や地域経済の状況等を背景にした、経費削減等の行財政改革の視点だけではなく、敦賀市が抱える課題等を総合的に考慮して行うこととしています。

◎RCNの議会中継について

- ・テレビ放映は、良いと思います。
- ・テレビ放映、ズーム（アップ）を取入れてはどうですか。

→システムの老朽化、地上デジタルテレビ放送への移行にともない、敦賀市議会では議場の中継用カメラをデジタル化いたします。設置場所を改善し、画質も向上しますので、ご期待ください。

- ・本会議の放映は、時代に沿った事業でよいが、各種委員会の放映（全部ではない）注目の案件を扱う委員会の放映をされるとよい。尚、原電特別委は関心が高いのではないのでしょうか。

→現在、各常任委員会、特別委員会につきましては、テレビなどで放映はしていませんが、今後、検討してまいります。議会だよりに掲載しております委員会での審査や調査の結果についても、わかりやすくお伝えできるよう工夫してまいります。

- ・議員の質問時間は決められている。
従って〇〇議員は〇〇時から〇〇時までと明示すればテレビを見る機会が増えると思います。

→代表質問・一般質問において、質問する議員の順番と、質問部分の持ち時間は決められていますが、議論の内容によっては持ち時間を使いきらずに質問を終えることもございます。そのため、議員ごとの中継時間をあらかじめお知らせすることはできませんので、ご理解をお願いいたします。夜7時からの再放送については、ご覧いただきやすくなるよう、時間帯や告知方法について工夫してまいります。

◎議会だよりについて

- ・正直、決まっていることの報告を見てもおもしろくない。
市民も自らの意見を持ちながら見れるような、広報によって議員を選ぶ基準とさえなるようなより明確な広報を期待します。

→ 議会の広報紙（議会だより）につきましては、敦賀市議会全般の情報を掲載しており、議会で話し合われたこと、決まったことを中心にご報告しております。これからも、興味を持ってお読みいただけるような議会だより、わかりやすい広報に努めてまいります。

- ・敦賀市議会だより～発行がおそい。
- ・議会だより広報の回数を増やしてほしい。
- ・議会だよりは年4回というのはどのような観点から？

→ 議会だよりは、年に4回開催される定例会の内容を中心に掲載しております。タイムリーな情報をお伝えできるように努力してまいります。

- ・読みやすいことは内容・レイアウトも大切な要素だが色についても検討し、“よみたくなる雰囲気づくり”にも気をつけてほしい。

→ 内容・見た目ともに、読みやすくわかりやすい議会だよりを目指して努力してまいります。

- ・議員だよりのような紙媒体であれば目にすることもあるが、TV、HPはなかなか見に行くことが少ないと思われる。（そこまで見にいかない）
紙媒体は継続すべきである。
- ・各家庭に「議会だより」が配布されていますので、紙面であれば時間にこだわらず読む事が出来ますので、わかりやすく理解できます。

→ 広報紙の特性を活かして、充実した情報をお届けできるよう努力してまいります。

- ・議会だよりの一部をアンケートすることも良いと思料します。
- ・議会だよりを要約して判かり易くすると高令者にとってもっと理解を得やすい。
苦勞されたと思いますので効果も考えて掲載して下さい。
- ・議題に準じた内容を（問題点、提案等）具体的に取組みを指摘してのせて欲しい。
- ・議会の広報を出す時にその都度議会のしくみをのせてはどうでしょうか。
- ・議会だよりにわかりやすく、皆んなに理解出来るようにして欲しい。

→ 限られた紙面ではありますが、市民のみなさんに議会のことをわかりやすくお伝えできるよう、内容や表現について工夫してまいります。

◎ホームページについて

- ・既に実施済でしたら恐縮ですが、昼間では見ている時間がないので、HPで後日でも見れるようにしてほしい。
- ・テレビ放映は再放送も見逃してしまうことがよくあるので、HPで見たい時に見れるとありがたい。

→ 現在、ケーブルテレビでは生中継のほか、夜7時からの再放送を行っております。インターネット中継や、ホームページでの録画配信についても、実施の方向で検討を進めております。

- ・ホームページの充実を図ってほしい。

→ 見やすく、わかりやすいホームページを目指して、現在リニューアルに取り組んでおります。知りたいこと、わからないことなど、ご意見やご要望がありましたらぜひお寄せください。

◎議会・広報全般について

- ・一問一答形式で意見がわかりやすくなった。
- ・今まであまり気にとめてなかったのですが、今後は少しずつでも興味を持ち、見ていきたいと思えます。
- ・引き続き、「情報公開」「伝えやすさ」を追及して頂きたい。
- ・「身近な議会」の実現のため、今後も頑張ってください。
- ・市民が知りたいと思っていることを、もっとつっこんで質問すると、身近な議会になると思えます。

→ ありがとうございます。これからも、市民のみなさんに開かれた、身近な議会を目指して議会改革に努めてまいります。

◎行財政について

- ・補正予算等の事案として上がるのは、どのような選定が成されたものか。「市民の予算をつけてくれ」という意見はどのようにして届くのか。予算をつける上で、優先順位を（または、必要の可否を）決定するのは、どこがどの段階で行うのか。

→ 市の総合計画、市民や区の要望、議会の意見、さらには、政策評価等の総合的な見地から事業案が決まります。議会ではその妥当性等を審査した後、採決を行い、正式に決まっていきます。なお、市民からの要望は、市長メッセージ等直接的なものもあれば、区長と語る会、議会での議員提案等、さまざまな形で予算に反映されていきます。

また、提案内容の優先順位は、市役所の理事者側で、各課、各部局と検討を重ね、最終的には市長との会議で決まっています。

◎福祉について

- ・保育園の料金が年々高くなっているのはなぜか。その使い道は。

→議会としては、現状維持の観点から、この問題を取り上げていますが、厳しい財政状況の中、人件費、維持管理等が要因となって値上がりしています。

- ・敦賀市では待機児童がゼロと報告されているが、実際はたくさんの児童が待っている。どのように調べているのか。

→敦賀市全体では、現在、待機児童はいないと聞いています。ただ、保育園によっては、満杯状態が続いているようです。

- ・地域介護補助金（※）には市内業者（施行業者）のしぼりはあるのか。

→特に制限はありません。

（※）正式名称は、「地域介護・福祉空間整備事業費補助金」といいます。

◎産業・経済対策について

- ・サル、クマ、イノシシ、カモシカの対策はどうするの。

→近年の増加に伴い、電気柵の設置、猟銃での対応等総合的な対策が必要になっています。議会でもこの問題を、議会毎に取り上げています。国へ意見書を提出するなど、今後も優先すべき課題だと考えています。

◎建築・土木について

- ・看護学校～短期大学間の道路拡張工事について、なぜ一気に工事しないのでしょうか。

本日（11/9）、道路工事「その2」の看板が設置されていましたが、なぜ天候の悪い冬場に、わざ

わざと工事をするのでしょうか。また、「その2」があるということは、「その3」や「その4」などがあるのでしょうか。

今後の展望を教えてください。

→ 用地取得等の事情から長引いているようです。議会でも何度か質問をし、地元からの要望も伝えてあります。25年度末完成予定と聞いています。

・ 敦賀駅舎は新幹線駅と共同か。

→ 現在の計画では、現駅舎から100メートルほど離れた東側に新幹線のホームと線路が建設されることとなっています。改札口は異なりますが、駅舎そのものは、今計画中の駅舎で対応すると聞いています。

・ 駅前駐車場、白銀駐車場はなぜ年間契約はダメなのか。

→ 民間事業者が提供するサービスと相互に競合しないよう、また、なるべくたくさんの人に利用していただくことを考慮して、年間契約という方法を取らなかったと聞いています。

・ 原子力工学研究所を、敦賀短大を利用できなかったのですか。

→ 議会の一般質問等で一部意見が出されましたが、議会として予算審査を行い、了承しました。

・ 教職員寮解体あと地についての利用計画は。

→ 土地所有者に返還すると聞いています。

◎教育について

・ 敦賀短大の将来はどうなるのですか。

→ 現在、市では検討委員会を設置し、看護学校との合併を視野に入れて検討中です。議会ではその都度、説明会が開催され、検討結果を聞いています。